

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311-1177
E-mail: info@hosenji.or.jp



家庭教育の指針

俳句で有名な北村季吟さんによるお盆の俳句を紹介致します。
「まざまざといいますがごとく魂まつり」

ないように、「まざまざ」といいますが如く「つまり心をとめて、懇切丁寧にお迎えしなければならぬのです。」

また、お盆は国民的行事であり、ご先祖様のみなならず、遠くに行っていた家族、親戚が集う場でもあります。疲れ帰ってきてがっかりさせることがないように、心をこめて、笑顔で迎えてあげたいものです。

帰って来た時、ただいまー、おかえりーと言いますが、無事に「ただいま」帰ってきたよの「ただいま」であり、無事に「おかえり」できてなによりだねの「おかえり」です。

また、お盆のみならず、毎日の生活において手を合わせる、ご先祖様と挨拶をかわすということを大切にしてください。

また、お盆の場合には、手前に一本の足がくるようにします。

また、お盆の場合には、手前に一本の足がくるようにします。

また、お盆の場合には、手前に一本の足がくるようにします。

お仏壇のまつり方

新しいお位牌は左にお位牌は向って右に、

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

お位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

***お仏壇の中心はお釈迦さまです。**
お仏壇の上段中央に、木彫りや鑄造のお釈迦さまのお像をまつります。

***お位牌は上段の左右に**
ご先祖さまのお位牌は、お釈迦さまの左右におまつりし、古

***お供え物の位置は中段です。**
香り(線香、お香)花、灯明、水、飲食(お霊膳、果物、菓子、嗜好品など)の五つです。お茶やお水をお供えする器のこ

***下段には三具足を置きます。**
下段には、向って左側より花立て、香炉、口ウソク立ての三具足を置きます。香炉にも

***おまいりの必需品は下段に整えます。**
日常、おまいりする

***おまいりの必需品は下段に整えます。**
日常、おまいりする

***おまいりの必需品は下段に整えます。**
日常、おまいりする

***おまいりの必需品は下段に整えます。**
日常、おまいりする



お仏壇は、いつも綺麗にいたしましょう。

一年回法要準備二覽

混合回法要準備二覽
御位牌 3 回忌以後は、必ず必要では、ありません。

御位牌 3 回忌以後は、必ず必要では、ありません。

御位牌 3 回忌以後は、必ず必要では、ありません。

御位牌 3 回忌以後は、必ず必要では、ありません。

総代・世話人ご退任
長い間ありがとうございました

総代・世話人ご退任
長い間ありがとうございました

総代・世話人ご退任
長い間ありがとうございました

総代・世話人ご退任
長い間ありがとうございました

曹洞宗桐生山鳳仙寺では、永代供養を提案しています。

(すでに亡くなられた方の納骨のご相談も承っています。)

永代供養他一式45万円

葬儀費用 (通夜から葬儀・初七日までの一切)
戒名・納骨式・御位牌
永代供養・墓碑書入れ
納骨堂使用管理費を含む
(年会費、入葬料等は一切かかりません)

八ガキでの資料請求は住所・氏名・電話を明記してご送付下さい。
〒376-0601 桐生市梅田町1-58

上記は一般的な葬儀です。葬儀の内容・費用はご相談下さい。

お問い合わせ、資料請求は今すぐ右記FAXで... **FAX.0277-40-6000** <http://www.hosenji.or.jp>

一般墓地

緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆったりとした南向き。お車でお参りできます。

一區画 **30万円**より
(1坪/3.3㎡)

桐生山鳳仙寺

まごころに生きる 梅花流詠歌へのおすすめ



梅花流詠歌とは
（鈴鉦を用いて唱える仏讃歌）
お釈迦様・両祖さま・道元さま・營山さまを讃え、ご先祖さまを敬うところを

唱えます。その歌は日本の風土と暮らしの中で生まれたメロディーです。やさしく穏やかな曲で、唱えやすく安らかなところが生まれ、新たな感動がわいてきます。

お寺の門をたたいてみませんか？

梅花流詠歌は昭和二十七年(1952)年に創立した、曹洞宗の御詠歌・和讃です。詠讃歌を学んでいくと自然に安ら

かな気持ちになり、正しい生き方を実感することが出来ます。そして生きるための希望と、生きていることへの感謝のこころで幸福になります。



おばけ寄席

あなたはこの恐怖に耐えられますか？

暑い夏の一夜、梅田の名刹の本堂で冷汗をかきませんか？
鳳仙寺にて真打ちの落語と講談の競演、おばけ寄席を開催します。

日時*平成十六年八月二十八日(土) 午後六時三十分開場・午後七時開演・午後九時頃終演予定

出演者*柳家蝠丸師匠落語) 神田愛山師匠(講談) 桂前助師匠(桐生出身前座・落語)

料金*当日券三千円、前売券二千五百円

お寺にかかるとかかる費用

護持会費 (鳳仙寺の会費)
鳳仙寺の檀家の会で、総代さん世話人さんが役員をしています。会費は、護持会会計さんが管理します。年額 一口 三〇〇〇円です。

お寺の行事

お施食会 (先祖の供養)
各家の先祖供養法要を毎年四月二十九日に行なっております。古い先祖は中々供養出来ないのが当日市内のお寺さんに集まっていただき、大供養を行います。供養料 三〇〇〇円、お塔婆代、記念品

三尺坊お祭り (鳳仙寺秋祭り) (火伏せの仏様)
毎年十月十六日にお祭りをしています。心の火/身にかかる火/火災や災難を防ぐとされています。お電話での申込みも受けております。お札 二、〇〇〇円

感謝録

平成十五年十二月吉日 寄贈 金拾萬円 佐藤吉二郎様
平成十六年六月吉日 寄贈 白の高級着物生地 酒井 節子様

鳳仙寺護持会 会計報告

十六年度の護持会費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんに願ひし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付けておりますので宜しくお願い致します。墓地掃

寺報を利用して報告させて頂きます。護持会費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三〇〇〇円となっており、院号戒名の付いている家は、一口以上のお願ひとなっております。

〔平成15年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕 平成15年4月1日-平成16年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6 560 931	本山宗費	914 940
平成15年度護持会費	2 984 810	下水道保守管理費	52 550
銀行利息入金	3 229	郵便局払込手数料	18 140
		銀行手数料	1 575
		教区研修補助金	30 000
		教区新年会費	15 000
		合同新年会補助金	11 746
		婦人会補助金14~16年	60 000
		修理費(山門・手摺り他)	302 400
		修理費(鐘楼補修工事)	3 093 445
		修理費(設計料)	200 000
		(支出合計)	(4 699 796)
		次年度繰越金	4 849 174
合計	9 548 970	合計	9 548 970

(繰越内訳=普通預金4 849 174円)

上記の通りご報告申し上げます。

平成16年4月29日

鳳仙寺護持会 総代 下山 晴夫
会計 池田伊佐男

お盆、お彼岸、お正月やその他の時に寺参りをしながら仏様に上げる布施をお願いしております。

墓地掃除料
境内墓地、鳳仙寺の境内墓地、入口の墓地、本堂裏の墓地の方々のみ掃除料を頂いております。年間に3回掃除をして年額 三〇〇〇円です。(注)堤の東山墓地、岩崎観音堂墓地個人墓地などは、直接その管理者にお払い下さい。

厄除け
毎年正月には、厄除けを受付けております。お電話・FAX・HPでも受け付けております。お札をお送りする事もできます。

厄除け
毎年正月には、厄除けを受付けております。お電話・FAX・HPでも受け付けております。お札をお送りする事もできます。

お札 二、〇〇〇円

三尺坊お祭り (鳳仙寺秋祭り) (火伏せの仏様)
毎年十月十六日にお祭りをしています。心の火/身にかかる火/火災や災難を防ぐとされています。お電話での申込みも受けております。お札 二、〇〇〇円

お施食会 (先祖の供養)
各家の先祖供養法要を毎年四月二十九日に行なっております。古い先祖は中々供養出来ないのが当日市内のお寺さんに集まっていただき、大供養を行います。供養料 三〇〇〇円、お塔婆代、記念品

平成十六年度年回表

一周忌	平成十五年
三回忌	平成十四年
七回忌	平成十年
十三回忌	平成四年
十七回忌	昭和六十三年
二十二回忌	昭和五十七年
二十五回忌	昭和五十五年
二十七回忌	昭和五十三年
三十三回忌	昭和四十七年
三十七回忌	昭和四十三年
四十二回忌	昭和三十七年
四十七回忌	昭和三十三年
五十回忌	昭和三十年
百回忌	明治二十八年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めをお願いします。

お知らせください

転居先不明で、お寺からの新聞やお手紙が返って来ませんでした。お知り合いの方がおりましたら、お知らせ下さい。

田村坦次様・谷八重子様・古井朱里様・塚田利子様・小林浩様・山本利松様・鈴木勝太郎様・岩野トミ子様・大沢茂様・金子善二郎様・小林正雄様・根岸一夫様
以上の方々です。よろしくお願ひします。

座禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)七時より八時半まで座禅と朝粥の会を行っています。既に三年間続いています。皆様お出で下さい。(会費無料)

